

みみらいふ@京都

Since 2024年11月

～京都府・京都市中途失聴・難聴者協会における労働分野での課題解決に向けての活動～

【みみらいふ@京都】の由来

私たちは人との関わりの中で生きている。

その関わりの中で、やりがいのある仕事に就くことも、ライフステージの課題の一つ。

働くことは生活の維持はもちろん、社会とのつながりでもあり、自己成長の場。目指すは人としての最高の欲求とされる自己実現、それを超越する社会貢献。

聴覚障害は見えない障害であり、きこえは人それぞれまちまちであることから、合理的配慮の形になりづらく、人との関わりや仕事のスキルアップに深い悩みを抱えている人が多い。聴覚に障害を持っていても、自分らしく生き活きと働きたいという願いを誰しも持っている。

全難聴近畿ブロック協議会労働対策委員会では、各府県の労働分野での課題解決を扱う専門部の新設を目指しており、京都府と京都市の中途失聴・難聴者協会でも労働分野を扱う専門部を立ち上げ。

現役で仕事する協会員が少ない中、府と市の垣根を越え、「みみらいふ@京都」という活動名で現役世代を勇気づけていく。

自分のきこえとうまく付き合い(=みみ)、自分らしい生活や人生を送る(=らいふ)、
労働分野から考える共生社会の一步を目指す京都版。

《これまでの活動を通して》

2025年はつながる交流会を3回(4月、8月、11月)実施しました。職場でひとりで悩んでいる難聴者をつなぎ、わかり合える「ひとりではない」という雰囲気の中でメンバーの工夫などを聞きながら、じっくりと自分の課題に向き合っています。合理的配慮の知識や手話なども勉強したり、きこえに不安があっても「また参加したい」と思えるような懇親会も人気です。対面での心の交流が明日への活力となっています。今後は、これから社会に出ていく子供たちにも自身の将来像や壁の乗り越え方の一助となるような交流会も企画していきます。

【お問い合わせ QR コード】

職場で、きこえに不安を抱えている方にも、みみらいふ@京都をご紹介します。



京都府中途失聴・
難聴者協会 HP



労働分野において
はともに活動

みみらいふ@京都



京都市中途失聴・
難聴者協会 HP



《担当》みみらいふ実行委員会

西岡・古谷 (府難協)

北川・齊藤 (市難協)